

# ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 693 号

2019年3月1日

発行

アスカ工業株式会社

〒444-0303

西尾市中畑町卯新田上28

## 2018年生産

### アルミ鋳物・ダイカストともに高水準

経済産業省がこのほど発表した2018暦年（1月～12月）の生産動態統計による生産量は、

- ・アルミニウム鋳物 454,058トン
- ・アルミニウム・ダイカスト 1,052,240トン

で、アルミニウム鋳物は5年連続で記録を更新、2018暦年の生産は過去最高を記録した。

ダイカストは3年連続して前年実績を上回り、中でも自動車向けが、リーマン・ショック前の2008年に記録した1,057,088トンの水準に達した。

#### アルミニウム鋳物

主力の輸送機械（自動車とその他）が2.9パーセント増と5年連続のプラスを記録した。一般機械は1.3パーセント増加で、2年連続して前年実績を上回った。

公共事業や土木向けなどが含まれるそのほか、0.2パーセントの減少で、3年ぶりのマイナスを記録した。

#### アルミニウム・ダイカスト

最主力の自動車が3.3パーセント増と3年連続のプラスと健闘して、ダイカストの総生産量アップに大きく寄与した。電気機械も7パーセント増加、2年連続の増加を記録、また一般機械も9パーセント増加2年連続のプラスとなった。

#### 本年の見直し

米国の貿易保護政策により、自動車の世界生産地帯に変化が起こる不安があるが、日本メーカーの競争力は抜群で、鋳物・ダイカスト共に好調が期待される。

### アルミニウム鋳物・ダイカストの生産

	2018年		2017年	
	生産（トン）	前年比（%）	生産（トン）	前年比（%）
①アルミ鋳物	454,058	+2.8	441,815	+4.3
②一般機械	8,406	+1.3	8,300	+3.2
③輸送機械	434,058	+2.9	421,918	+4.4
④その他	11,594	-0.2	11,597	+0.8
⑤アルミ・ダイカスト	1,052,240	+3.4	1,018,812	+6.4
⑥一般機械	31,490	+9.0	31,498	+17.4
⑦電気機械	18,053	+7.0	16,803	+3.9
⑧自動車	940,633	+3.3	909,322	+6.0
⑨二輪車	26,324	-4.7	27,609	+6.8
⑩その他	35,741	+6.8	33,580	+7.3

## 2019年アルミニウム缶需要 216億缶を予測

アルミ缶リサイクル協会（富永泰夫理事長）は2月15日、2018歴年（1月～12月）の飲料用アルミニウム缶の需要見込みと、2019歴年の需要予測を発表した。

これによれば2018歴年の需要見込みは、対前年比1%減少し、缶需要の伸び一服が続く見通し。

ビール向けは95億缶と、対前年比1%減少し、対前年比でのマイナスは14年連続となる。ただ、ビール向けの減少傾向にも若干歯止めがかかってきたとみている。

一方、RTD（レディ・トゥ・ドリンク）と呼ばれる栓を開けてそのまま飲めるチューハイやカクテル、ハイボールなどの低アルコール飲料向けは11%増の39億4千万缶と好調を維持している。

2019年の国産缶の出荷量は212億5千万缶と前年の横ばいを見込む。

RTDの低アルコール飲料向けは、10%増の43億3千万缶の好調維持を予測する。

一方でアルミ缶需要を支えてきたビール向けは、少子高齢化や若者のビール離れといった好みの変化などから19年は1%減の94億缶にとどまると予想され、ビール向けの厳しい状況は変わらない。

非アルコール飲料向けは75億2千万缶と更に減少すると予測。コーヒーなどがペットボトルにシフトしていることが影響していると考えられる。

過去10年間の日本のアルミニウム缶の需要量の推移は下記の通りである。（単位・億缶）

・2008年	184.3	・2013年	194.5
・2009年	182.4	・2014年	201.4
・2010年	185.8	・2015年	222.0
・2011年	188.0	・2016年	223.8
・2012年	191.3	・2017年	219.3

### 日本の飲料用アルミニウム缶需要量（1～12月）

（単位：億缶、カッコ内は前年比%）

暦年		2017年実績	2018年実績見込み	2019年予測	
A 向先別 国産缶 出荷量	ビール（発泡酒・新分野含む）	95.7（98.0）	95.0（99.0）	94.0（99.0）	
	ビール以外の飲料	その他のアルコール	35.4（110.0）	39.4（111.0）	43.3（110.0）
		非アルコール	82.5（96.0）	78.2（95.0）	75.2（96.0）
	ビール以外の飲料計		117.8（99.0）	117.6（100.0）	118.5（101.0）
	小計		213.6（99.0）	212.6（100.0）	212.5（100.0）
	（うちボトル缶数量）		29.5（100.0）	26.1（88.0）	26.5（102.0）
B	空缶輸入量	0.5（100.0）	0.3（60.0）	0.3（100.0）	
C	実缶輸入量	6.8（91.0）	5.3（78.0）	4.9（93.0）	
D	実缶輸出货量	1.6（268.0）	1.6（96.0）	1.6（103.0）	
E	国内需要量計（A+B+C-D）	219.3（98.0）	216.6（99.0）	216.1（100.0）	

## 工場見学会

### 志太二市環自協連絡協議会

1月31日志太二市環自協連絡協議会（会長・河野利作氏）の役員16名の皆さんが、アスカ工業株式会社を訪問、アルミニウムのリサイクルングについて研修会を実施した。

静岡県焼津市と藤枝市の2市の地域自治会の環境役員、及び市職員で構成された団体で、地域のゴミ減量対策や分別啓発など様々な環境衛生活動に取り組んでおり、役員研修のプログラムの1つとして工場見学が実現した。

マイクロバスで到着の皆さんは、工場見学でアルミニウムのリサイクルの実態を理解して、そのあとビデオで省資源問題や省エネルギー問題が如何に大切であるかを学習した。

最後にたくさんの質疑応答があり、大そう有意義な見学会となった。

2市にまたがるこのような団体は非常に珍しく、今後の立派な活動と成果が期待される。

## 春の歴史散歩 西尾歴史公園

旧近衛邸 江戸時代後期に薩摩藩島津家によって建てられた書院と茶室のある数寄屋造り。京都の公家・近衛家の邸宅だった。昭和60年に西尾文化協会が自費

で市に寄贈。平成7年3月に開館。400円で和菓子付き呈茶サービスを楽しめる。

尚古荘 昭和初期、米穀商・岩崎明三郎が西尾城の東の丸の遺構を利用して造った美しい日本庭園が特徴の邸宅。枯山水の庭園や茶室「不言庵」など趣向を凝らした造り。「古を尚ぶ荘」という西尾城への思いから名付けられた。



## 西尾桜まつり

3月23日オープン

例年4月の行事とされてきた西尾桜まつりは、近年桜の開花が早くなり、3月オープンの行事として行われるようになった。

本年は、西尾歴史公園とみどり川桜並木を中心に3月23日から4月7日まで多彩な行事が下記のように開催される。(写真はみどり川桜並木)

- ・みどり川-うなぎと金魚のつかみ取り
- ・歴史公園-コスプレ桜まつり・サクラ花市
- ・本町通り-お酒の試飲会・ピング



## 社内情報

- ◎前年に引きつづき、昨年のアルミニウム鋳物とアルミニウム・ダイカストの生産は、大へん順調に増加し、ご同慶にたえません。
- ◎本年も引きつづき、好調な需要を期待いたしております。
- ◎原料のアルミニウム合金地金もフル生産体制で対応しています。

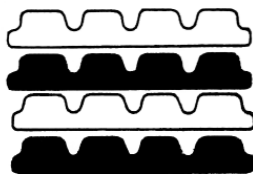
## 編集後記

- ☐昨年のアルミニウム缶の需要で、ビール缶が前年に引きつづき不振でした。日本のビールはおいしいと思いますが、減少傾向が止まらないことは大へん不思議です。
- ☐ご愛読者の皆様と一緒に、編集子もこの夏は缶ビールを愛飲してビール用アルミニウム缶の消費増大に寄与します。

## アルミ缶リサイクルング 鋳造用アルミニウム合金地金



アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

# アスカ工業株式会社

〒444-0303  
愛知県西尾市中畑町卯新田上28  
TEL <0563> 77-0500(代)  
FAX <0563> 77-0501  
<http://www.al-asuka.jp/>